



むしざわ  
虫沢古道を守る会 (松田町)

## 古道整備と維持管理から輪を広げるボラン

### ■きっかけは恩師のひと言

2009年からスタートした虫沢古道を守る会。平均年齢70歳以上のこの会結成のきっかけは、ある懇親会でした。現会長は、山梨県市さんが小学校の同窓生に「どこかの山に登りに行きたい」と話したところ、同席していた恩師の古谷先生が「この地元にはもっと楽しいことがある」と教えてくれたのが「はなじよろの道」。かつて花嫁(はなじよろ)が通った山梨までつ

ながっている廃れた道を、自分たちの手で復活させようというプロジェクトがそのとき始まりました。

### ■古道が結ぶ人のつながり

それから10年、住職、元町役場職員、自衛隊員、陶芸家、石材店の職人、建築家、学校の先生といった仲間たちがそれぞれのスキルを活かし、古道の整備・維持管理をし、その古道の魅力が口コミで広がり続けた結果、今では地域外から一年間で

2,000人近くの方が訪れているそうです。

「山から下りてきた人の『よかったよ』が何よりも嬉しい」そう話すのは、資材調達係兼広報の小野さん。謙倉で建築の仕事に携わり、退職してこの地域にきました。「活動が形になり、感謝してもらえ、退職後にこんなに楽しみに出会うなんて思っていなかった」とうれしいう。山に入られるのは月に3、4回ですが、ハイキングに来た人

## テИА団体

が道の様子を教えてくれ、効果的に維持管理できそうです。リピーターも多く、その人達もまた新たな仲間を連れてきてくれる。古道から人のつながりが広がっています。

### ■大切なのは強制をしないこと、そして無理をしないこと

山梨会長は、「参加したいとぎに参加してもらえればそれで充分。組織を固めてしまうと参加が義務的になり、楽しくなくなってしまいます。そして、皆が自

### 一言アドバイス

活動を継続するためには、皆が自由でのびのびと活動する。



虫沢古道を守る会  
会長 山岸 榮市さん

### 成功のコツ

- ・みんなが思い思いに発言できるゆるく自由な組織運営
- ・身の丈に合った事業を無理なく実施する

由に発言する。行き違いがあっても、1時間もすると自然とまとまります」と話します。

無理をしないこともポイント。活動がうまくいくと、取組みを広げたくなくなります。結果的に手が回らなくなり、「楽しさ」がなくなってしまうとのことです。

### ■会が育む地域のつながり

山梨会長は、「この会のおかげで健康になり、協調性が生まれ、自治会長なども務めさせてもらった。この会が自分を成長させてくれた」と語ります。地域のほかのボランティア団体

でも、会のメンバーが中心となり活躍されているそうで、この会の価値がここにも表れています。

### ■将来の夢

「もっとメンバーが増えたら、いつか実現したいことがある。はなじよろ道を、県境まで整備し、山梨県ともつなげて、県域を越える人のつながりをつくっていきたい」そんな夢を語る山梨会長。虫沢古道を守る会の取り組みは、これからも続いていきます。